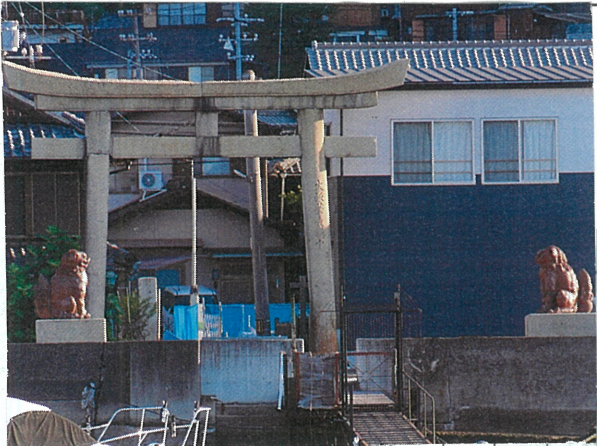


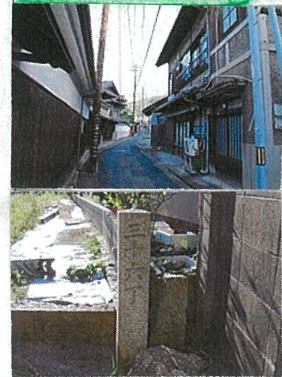
鳥居と狛犬なぜここに？

神社新聞

倉敷市立琴浦東小学校
6年 佐藤希衣



私の住む地域に不思議な光景がある。
多くの車が通る道路の両脇に大きな
鳥居と二つの狛犬。でもそこには神社や
お寺は見当たらない。ずいぶん気になって
いたので調べてみた。
倉敷市旧島田の口港。見島と玉野
市を結ぶ国道四三〇号線沿い北側に
高さ六・八メートル、横幅九・五
メートル、柱径
五・五センチメートル
の大鳥居がある。
柱の下の方が茶褐色
に変色している。の
はこの辺りが昔
海中にあったため
言われている。南の
海側には備前焼
の阿吶の唐獅子
港の東西の防波堤
にはそれぞれ常夜灯が一基
ずつ立っている。ここは昔由加山
への山道だった。

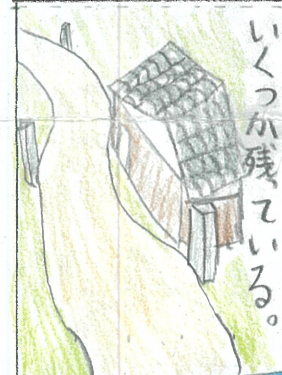


私の通学路は田の口港から由加山への
旧参道の一部だ。現在でも本瓦葺
格子造りの家がある。当時の組紐
や真田紐が販売され、現在の見島
の織維産業の始まりとされている。
道中には由加山までの距離を示した石碑が
いくつか残っている。

通学路の石碑

江戸時代中期から
明治時代初期まで
由加山と香川県
のこんぴら宮の両方
のお参りをすれば、
ご利益を多く頂ける
として「両参り」が盛んに
行われた。由加山には東西
南北四つのルートがあったが、
南ルートである田の口港からの
距離が最短で、多くの人が利用し
ていた。

由加こんぴら
両参り



参考文献
「金毘羅往来と由加往来」
「見島の日本一物語」

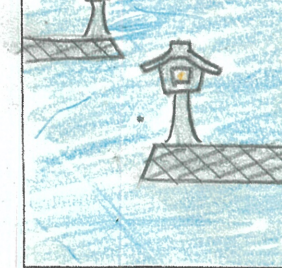


私はこの新聞をつくる前は歴史や地理が
苦手だった。けれど自分の身近なところにいる人
の思いが詰まった大切な文化があった。それにつ
て調べることで自分の暮らす地域について知れば知る
ほど感動した。これから自分の地域や文化を
大切にしていこうと思った。

社説

由加神社の階段
の下には出店が
あり、あんころ
餅、有名あんころ
餅、白餅を
和菓子のこと
で、毎年
たくさん売
れていると
か。

あ
二
三



「見島の日本一物語」

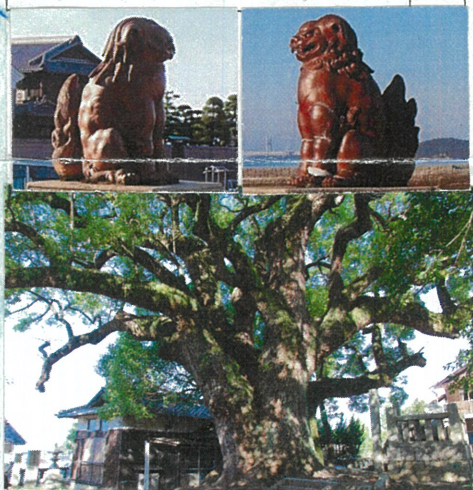
備前焼最大の作品
由加神社入口には縦横
約五メートル、備前焼
でできた大鳥居がある。
柱は大土管を五個ずつ
積み上げていく。色は
赤みのある光沢を帯
びていて、備前焼の狛犬とも
に訪れる人を迎え入れて
いる。



「見島の日本一物語」

備前焼最大の作品

由加神社の階段
の下には出店が
あり、あんころ
餅、有名あんころ
餅、白餅を
和菓子のこと
で、毎年
たくさん売
れていると
か。



芒神くすのき
田の口港東、岩滝山ふもと
の旭荒神社には、推定樹
齢七百年、高さ十五メ
ートルの楠がある。それは、
両参りが盛んな頃、
田の口港への目印となっ
ていた。

